

令和02年3月（第1回）岩倉市議会定例会
一般質問通告要旨

1 木村 冬樹 議員

1 東新町の課題にどう対応していくべきか

- (1) さくら会（東新町老人クラブ）が提出した、ふれ愛タクシー事業に関する要望書はどのように扱われたのか。
- (2) 外国人児童生徒等への学習・就労支援や多文化共生社会づくりに向けた取組はどうなっているか。
- (3) 埼玉県春日部市の官学連携団地活性化推進事業を参考にすべきではないか。
- (4) 岩倉団地の将来について、UR都市機構と正式に協議していくべきではないか。

2 この時期に投票率向上に向けた取組を考えよう

- (1) 明るい選挙推進協議会での投票率向上のための方策についての検討はどうなっているか。
- (2) 埼玉県熊谷市の「家族で投票所へ行こう！キャンペーン」を参考にすべきではないか。

3 台風・豪雨災害に対する自治体の役割をどう考えるか

- (1) 自助・共助・公助の関係をどう考えるか。
- (2) 地域防災計画を具体的で分かりやすいものにし、市民に周知すべきではないか。
- (3) 岡山県総社市の「寄り添う防災、寄り添う災害対応」を参考にすべきではないか。
- (4) 小学校区ごとに住民参加でハザードマップを見直すべきではないか。
- (5) 避難所のあり方を考える。
- (6) 職員体制は十分と言えるのか。

2 大野 慎治 議員

1 コミュニティ・スクールについて問う

- (1) 学校と地域住民等が力を合わせた「地域とともにある学校」への取組はどのようなものがあるのか。
- (2) コミュニティ・スクール導入に向けて、文部科学省の財政的支援はあるのか。
- (3) 戦略事業としてモデル校を決めて、コミュニティ・スクールの導入を目指すべきではないか。

2 発達障害のある子どもたちについて

- (1) 支援状況はどのようになっているのか。
- (2) 小学校卒業後の進路に関する相談体制はどのようになっているのか。

- 3 総合体育文化センターのスポーツ備品について問う
 - (1) 管理状況はどのようになっているのか。
 - (2) 計画的に更新するべきではないか。
- 4 市制50周年記念事業について
 - (1) 織田伊勢守信安公の生誕430年に当たるため、記念講演を開催してはどうか。
- 5 下田南遺跡について問う
 - (1) 市の財産として掘立柱建物を復元し、残すことはできないか。

3 片岡 健一郎 議員

- 1 岩倉市における防災計画について問う
 - (1) 災害時における避難行動要支援者名簿の更新状況はどうか。
 - (2) 避難支援等関係者に医療関係者、介護関係者を加えてはどうか。
 - (3) 身体状況に応じたフレキシブルな個別避難支援計画の更新が必要と考える。
 - (4) 応急救護所開設及び運営マニュアルの策定を要望する。
- 2 市長選挙、市議会議員一般選挙における選挙事務について問う
 - (1) 条例改正のタイミングで地方公務員特別職（区長、民生委員）の選挙への関わりの認識を統一すべきと考える。
 - (2) 市長選挙、市議会議員一般選挙での公費支出額の適正化をどのように考えているか。
- 3 行方不明者発生時の市の対応について問う
 - (1) どのような手段で迅速かつ広域に周知を図っているか。
 - (2) 同報系防災無線を運用してはどうか。
 - (3) 安全安心カメラの行方不明者発生時の運用について問う。

4 須藤 智子 議員

- 1 新型コロナウイルス感染症対策について問う
 - (1) 高齢者や基礎疾患のある人への感染を防ぐために岩倉市としての対応はどうか。
 - (2) 市内の高齢者の施設での感染対策について、岩倉市としての対応はどうか。
 - (3) 子ども、妊婦に対する岩倉市としての対応はどうか。
- 2 地球温暖化対策について問う
 - (1) 岩倉市として、気候変動対策にどのように取り組むのか。
 - (2) 市民一人ひとりが地球温暖化の防止に向けてできる対策はあるのか。

5 堀 巖 議員

- 1 千葉県いすみ市、木更津市の有機農業に対する取組を参考にし、本市でも推進してはどうか
- 2 新型コロナウイルス対策に関連して、桜まつりの中止をできるだけ早急に決断すべきではないか。また、沈静化した後の代替イベントも併せて提案すべきではないか
- 3 ネット・スマホ・ゲーム依存をどのように考えるか
 - (1) 岩倉市における児童・生徒のネット・スマホ・ゲームの利用時間等は、どのようか。
 - (2) 岩倉市として、何らかの方策を取る必要があるのではないか。
 - (3) 香川県議会から提案された「ネット・ゲーム依存症対策条例（仮称）」をどのように評価するか。
- 4 令和元年6月議会で提案した高齢者の事故多発を受けた施策について、その後の展開を問う
 - (1) 自動ブレーキシステムに対する支援策は、どうなったのか。
 - (2) 交差点における車止めは、どうなったのか。
- 5 岩倉市自治基本条例第12条で制定すると規定してある住民投票条例は、どうなってしまったのか
- 6 岩倉市の保育について問う
 - (1) 子ども・子育て支援法が改正された背景は。
 - (2) 岩倉市のこれまでの待機児童数の推移は。また、今後の見通しは。
 - (3) 岩倉市における家庭的保育、小規模保育、居宅訪問型保育及び事業所内保育の事業所の現状と今後の予定は。
 - (4) 保育施設に対する指導検査は、どのような根拠で、どのように行われるのか。
 - (5) 子ども・子育て支援法に規定されている市町村の責務にあるとおり、適切な環境が等しく確保されているか。
 - ① 保育室面積、園庭、遊具等のハード的な要素ではどうか。
 - ② 保育士及び組織としての実践経験等のソフト的な要素ではどうか。
 - (6) 等しく確保するためには、小規模保育所等の認可に対する市としての基準を改めるべきではないか。

6 井上 真砂美 議員

- 1 安全・安心なまちづくりで、緊急事態への対応策を問う

- (1) 五条川小学校調整池は1850 t の水を貯水できる。
 - ① どの程度の豪雨を念頭において算定しているのか。
 - ② 想定外の事態を考えているのか。
- (2) 暑い日の「健幸ロード」の熱中症対策を聞きたい。
- (3) 生活道路へ進入する車を制限してはどうか。
- (4) 感染症情報と対応
 - ① 市民への連絡体制はどうか。
 - ② 予防方法にはどのようなものがあるか。
 - ③ 免疫力とはどのようにすればつくのか。

2 市民の手による「地域サロン」を持続可能な運営にするために

- (1) ボランティアスタッフが感じている「役立ち感」を多くの人に広めるためにはどのような方法があるか。
- (2) 「役立ち感」醸成の方法は。
- (3) 「地域サロン」を未永く続けていくための施策はどのようなか。

3 「下田南遺跡」やその出土遺物・発掘調査結果をどう活用していくのか

- (1) 「下田南遺跡」はいつまで発掘状態が見られるのか。
- (2) 社会見学、バーチャル映像で時代紹介など、学校での学習等や創造力育成面で活用する予定はどのようなか。
- (3) 商工会や観光ステーションで、出土遺物や発掘調査結果を利用してはいかがか。
- (4) 「桜まつり」とのコラボを行うならば課題は何か。
- (5) コンパクトシティの良さを活かしてはどうか。

7 谷平 敬子 議員

1 認知症高齢者の見守りについて

- (1) 本市の認知症高齢者の現状はどのようなか。
- (2) 認知症高齢者の見守りはどのようなか。
- (3) 見守りシールの配付を求む。

2 子育て支援について

- (1) 本市の多胎妊娠出産の状況は。
- (2) 多胎家庭に対する本市の支援の状況は。
- (3) 多胎家庭への支援の充実を求む。

3 やさしい日本語について

- (1) 外国籍の人との交流促進の取組はどのようなか。
- (2) やさしい日本語を積極的に取り入れるべきではないか。

4 ごみ回収袋について

- (1) 燃やすごみ袋のサイズの変更はできないか。

8 水野 忠三 議員

1 市内小中学校における新型コロナウイルス感染症対策を問う

- (1) 現状をどのように認識しているか。
- (2) 現在、感染症対策としてはどのような指導がなされているか。
- (3) 学校での対応に関して、国や県との連携・協力関係はどのようになっているか。
- (4) 今後、保護者や児童・生徒に対して正確な情報をどのように提供していくか。
- (5) 仮に、学級閉鎖などにより、大幅な学習の遅れが生じた際にはどのようにフォローするか。

2 自治体シンクタンクについて問う。（埼玉県春日部市の「かすかべ未来研究所」の事例から）

- (1) 現在、本市における市民ニーズや地域課題を把握する取組はどのようになっているか。
- (2) 現在、市職員からの政策に関する提案・提言があった場合、どのように取り扱われているか。
- (3) 本市の各種データ等の収集・分析や行政課題の解決に向けた調査研究等を行う体制はどのようになっているか。
- (4) 各担当部署が行う計画策定や政策立案に対する助言・相談、研究成果の情報発信等を行う体制はどのようになっているか。
- (5) 職員等の政策形成能力を高めるための人材育成を行う体制はどのようになっているか。
- (6) 「かすかべ未来研究所」のような庁内シンクタンクの設置についてはどのように考えるか。

3 国及び県からの補助金について問う

- (1) 市財政に占める補助金のウエイトを踏まえたうえで、国や県からの補助金の現状をどのように認識しているか。
- (2) 補助金を有効に活用していくために、どのような点に留意しているか。
- (3) 国や県の理解を得ながら、今後、様々な補助金をより積極的に受ける必要があると考えるが、どのような取組が考えられるか。

4 「市長との小学校区意見交換会」について問う

- (1) 意見交換会はどのような内容だったか。
- (2) 今回の意見交換会自体についてはどのように評価しているか。
- (3) 市民の皆様から様々なご意見をいただいたと思うが、どのような手ごたえを感じたか、市長に問う。

- (4) 市民の皆様からいただいたご意見を今後の市政にどのように活かしていくか、市長に問う。

9 宮川 隆 議員

1 有害ごみの回収方法の周知啓発

- (1) リチウムイオン電池の回収方法は現行のままでよいのか。
(2) ボタン型電池の回収方法は現行のままなのか。
(3) 「蛍光管回収箱」の表記は正しいのか。
(4) 製品の品質・素材の改良に伴う回収方法の周知啓発の必要性を感じるかどうか。

2 高齢歩行者の事故防止

- (1) 高齢歩行者の死亡事故率を把握しているのか。
(2) 高齢歩行者の事故原因や要因は把握しているのか。
(3) 現在どのような対策が取られているのか。